

◆宇宙誕生の謎を解明する「国際リニアコライダー(ILC)」の脊振地域への誘致について

ILCの研究施設は、地下の非常に強固な岩盤に掘られた、全長31kmから50kmの地下トンネル内に設置された直線加速器で、電子と陽電子をほぼ光の速さまで加速し衝突させることで、宇宙誕生直後の状態を再現し、未知の粒子の発見や宇宙誕生の謎を解明することを目的としております。全世界5箇所の建設候補地のうち、日本の脊振地域と北上地域が大変有力な候補地となっています。

研究施設の設置運営による経済効果は1兆円とも2兆円とも言われていますが、リニアコライダーは、革新的技術の集大成であり、派生する応用技術は、国内で70兆円の産業分野に及ぶとも言われています。スーパーコンピューター技術、医療や創薬などの生命科学、エネルギー、環境分野などで新たな産業を生み出す無限の可能性を秘めており、産官学の連携により、我が国の成長の礎を築くことが期待されています。

福岡に誘致できれば、「アジアで初めての大型国際研究所」となり、世界中から多くの最先端の優秀な科学者が集まり、次世代の基礎科学、技術の発信基地として、この福岡が世界一の国際科学イノベーション拠点となります。

Q	限られた期間の中で、県は県民に対してどの様にして広報活動を行っていくのでしょうか。
A	九州・山口産学官政結集いたしておりますILCアジア—九州推進会議、それと一体となりまして、集中的な広報活動に今後取り組んでまいりたいと考えております。具体的には、県民向けのパンフレットを現在作成中でございます。これを幅広く配布をしていきたいと考えております。また、空港、駅、そういった交通の拠点や公共施設などにポスターを掲示することによりまして、広く皆さんに知っていただきたいと思っております。あわせて、県内の市町村、企業に対しまして、それぞれの広報紙等を通じまして周知の協力を呼びかけてまいります。
Q	県として一体となって取り組むためには、県内全域の市町村への周知も必要であると思われませんが、県はどの様に対応していくのでしょうか。
A	県下の市町村の首長の皆さん初め、それぞれの役所で説明会を実施いたしまして、ILC計画の内容、それから本県誘致の意義、そういったことについて周知を図りたいと思っております。そしてまた、私どもがやっております推進会議への参加を幅広く求め、活動の輪を広げたいと考えております。
Q	海外に対する県の誘致活動をどの様に展開していくかをお聞きます。
A	学術研究機能の集積、外国人にとって安全、安心、快適な住環境、医療、教育環境、またすぐれた交通アクセスなど、私どもの地域が持っております強さといえますか、特色といえますか、これをアピールしていくことが重要でございます。、海外の政府に働きかけをやったり、大学のネットワーク等を活用して、先ほどいろんな各種団体の活用もお話がありました、そういったことも含めまして、効果的なルートを通じまして、研究者に対し広く脊振地域の魅力を発信していきたいと考えております。
Q	今後この地域におけるグローバル都市創成モデルの構築が求められてくると思われませんが、県の考えをお聞きます。
A	アジアでも類を見ない文化学術交流機能を兼ね備えた国際研究都市というものができると考えております。また、ILCの整備に必要となります新材料、超精密加工、超伝導技術など、そういった最先端の技術はIT、バイオ、医療、環境などさまざまな先端研究分野に応用が可能でございます。先端成長産業の創出でありますとか関連産業の集積といったものも期待できるわけでありまして、さらに、世界最先端の基礎科学研究が身近なところで行われることによりまして、青少年の科学あるいは理科に対する好奇心を高め、次の時代を担っていく科学者が、世界で活躍できるような人材が、この地から生み出されていくものと期待されます。こうした都市の形成が期待されておりますILC計画でございます。その実現に、これからもしっかり取り組んでまいります。